

IPv6サミット2010

IPv6家庭用ルータガイドライン2.0版 —家庭用ルータSWGのご紹介—

2010.10.08

IPv6普及・高度化推進協議会

IPv4/IPv6共存WG IPv6家庭用ルータSWG

金沢大学 総合メディア基盤センター

北口 善明

IPv6家庭用ルータSWGについて

海外

- 家庭内用のIPv6接続機器の仕様検討が様々な団体において展開されている
 - ケーブルラボ
 - ブロードバンドフォーラム
 - IETF etc.

国内

- 業界を横断した検討がされていない
- 業界内の各社は検討の必要性を感じている



国内での議論がスタート

■ SGWの目的

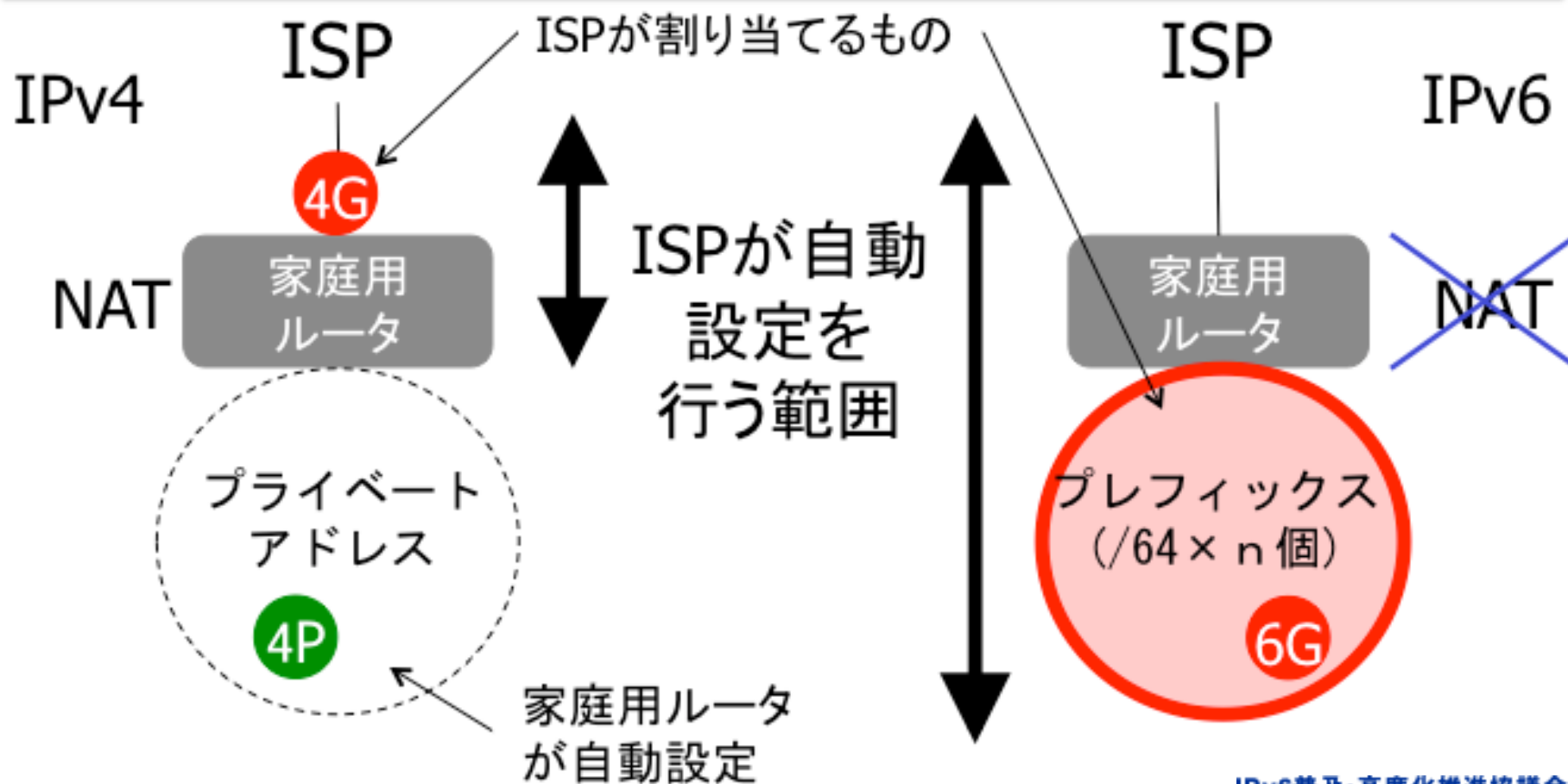
- インターネット利用者がスムーズにIPv6環境に対応できるようにISPのIPv6サービス提供に必要な「**家庭内ルータ機能のベースライン(最小限の共通認識)**」をインターネット利用者の視点からまとめること

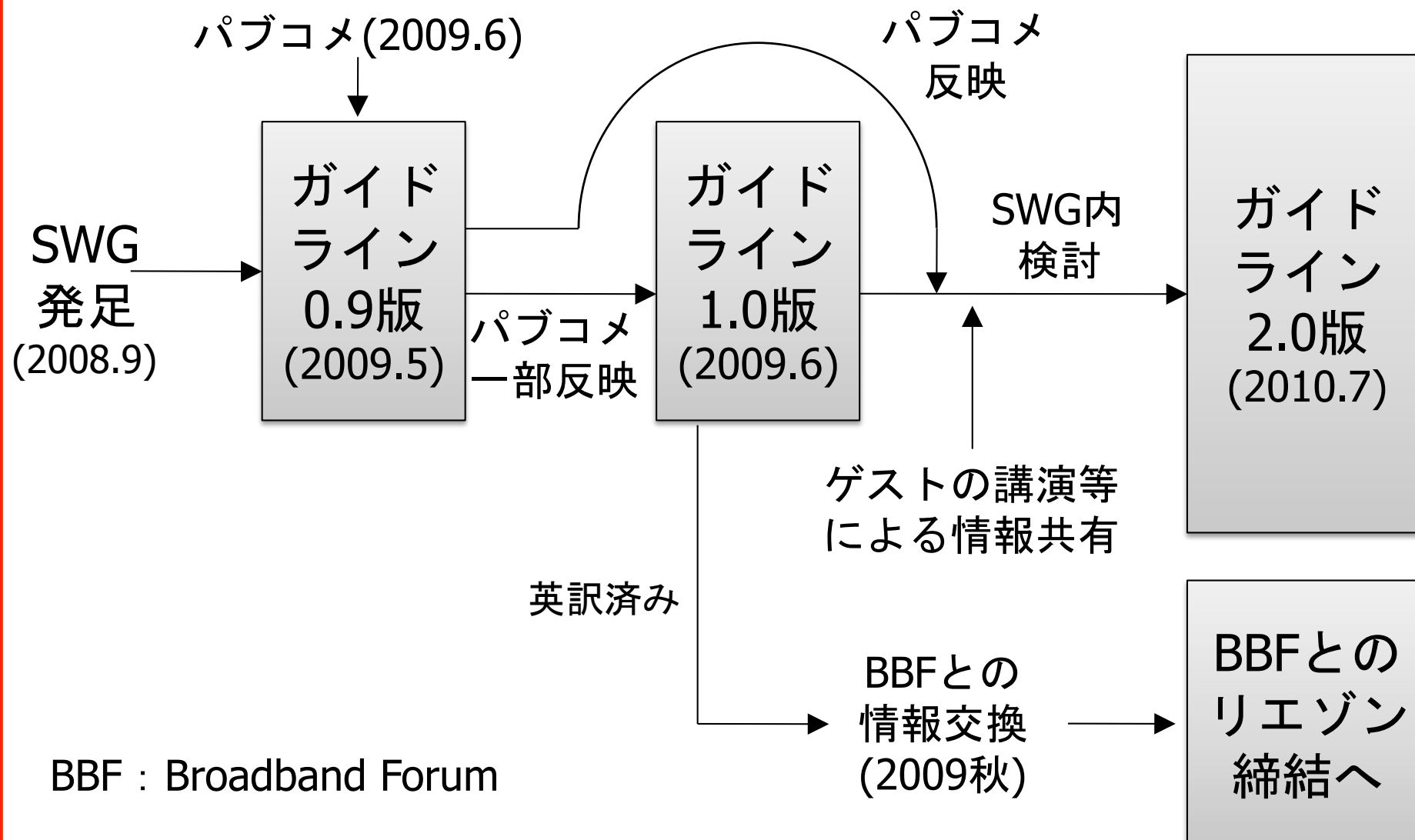
■ 進め方

- 家庭用ルータベンダ、ISPおよびアクセス系事業者等の立場から検討する
- 国際的な動向を考慮する
 - ケーブルラボ、Broadband Forum、IETFなど

IPv6家庭用ルータ 検討必要性の一例

IPv6の場合、ISPと家庭用ルータが連携して
端末までの自動設定を行う必要がある





BBF : Broadband Forum

現在進行中の活動

ガイドライン 2.0版の啓蒙

- Web公開
- 各種講演等において幅広く紹介

各種アクセス 網の検討

- NTT-NGN（2.0版の付録として検討中）
- その他のアクセス網は未定

国際対応

- ガイドライン2.0版の英語化
- 国際貢献・国際議論の反映
 - ✓ Broadband Forum との意見交換
 - ✓ Broadband Forum とのリエゾン締結準備

IPv6家庭用ルータガイドライン2.0版

- サービス提供者への接続モデル
 - IPv4接続も含めた接続形態の整理と解説
 - NAT444 / DS-Lite / A+P 等を追記
- アドレス割り当て機能
 - ULA 追記に伴う修正
 - サービスに依存する項目を削除して課題点を別途整理
 - WAN側アドレス/割り当てプレフィックス/宅内アドレス

- セキュリティ機能
 - フラグメント処理などの具体的な記述を追加
- DNSプロキシ／リゾルバ機能
 - IPv6通信とIPv4通信混在時の考え方などの再整理など
- 宅内ネットワークへの情報配布機能
 - LAN側アドレスのリナンバリング方法
 - WAN側回線断の時などプレフィックスが変化した場合の動作などを追記

- ルーティング／マルチキャスト機能
 - トンネル接続時にTCPのMSSを操作するなどのPMTUD処理負荷軽減の機能を追加
- サービス側の設定機能
 - 特に変更なし
- ユーザーインターフェース機能
 - GUI / CUI 機能やIPv6アドレス表記などを追記

- Broadband Forum との意見交換
 - 締結予定のリエゾンベースの議論
- IPv6協議会以外へのアウトプット
 - 2.0版の啓蒙活動と意見収集
 - 2.0版の改版と各種アクセス網における検討
 - 付録として早々に公開予定
- SWGミーティング
 - 月1回のペースで開催 次回 10月28日(木)
 - 新規参加希望はIPv6協議会事務局まで

ご清聴ありがとうございました

IPv6家庭用ルータSWG

<http://www.v6pc.jp/jp/wg/coexistenceWG/v6hgw-swg.phtml>

ガイドライン2.0版

http://www.v6pc.jp/jp/upload/pdf/v6hgw_Guideline_2.0.pdf

ガイドライン2.0版へのご意見募集中